

はじめに

認知症は、誰もがかかる可能性のある、とても身近な病気です。

早期に適切な治療を受けること、また家族や近所などの身近な人の理解や協力があれば、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができます。

本冊子（富士市認知症ケアパス）は、“認知症かもしれない”と思った時や認知症と診断を受けた時に、どこに相談すればよいか、どのような制度が利用できるかなどの情報をまとめたものです。

できる限り住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、本冊子を活用し考えてみませんか。

